

●從業員執務方ニ就テ

東京市内交通機關ハ省線電車ヲ始め、地下鐵電車並乗合自動車、圓タク等異常ノ激増發達ヲ來シ、互ニ相競ツテ乗客ノ吸收ニ努メ、日モ尙足りナイ有様デアリマス。以前ハ、市内交通上ノ獨占機關デアリマシタ、吾市内電車モ之等競争機關ノ爲ニ、漸次此ノ獨占ノ地位ヲ奪ハレ最近ニ於テハ、減收ニ減收ヲ加ヘ、今ヤ全ク經濟的危機ニ瀕シテ參リマシタ。

當局理事者ハ、既ニ以前ヨリ、此ノ趨勢ヲ憂ヘ、一方増收ノ途ヲ講ズルト共ニ、他方諸般ノ點ニ付經費節約ヲ圖リ、此ノ經濟的趨勢ヲ挽回セントシテ、日夜心身ヲ勞シテ居リマスガ、惟フニ、斯ル難局ニ處シテハ、獨り理事者ノミナラズ、吾々全局員ガ、誠心誠意、協力一致シテ事ニ當ラナケレバ、到底其ノ効果ハ擧ゲ得ナイモノト存ジマス。

此ノ意味ヨリ致シマシテ、當課ニ於テハ、曩ニ經費節約ニ關スル示達ヲ爲シ、諸子ノ考慮ヲ煩ハシツ、アルノデアリマスガ、今回更ニ、增收方法トシテ、諸子ノ日常ノ執務方ニ就キ、意ノ存スルトコロヲ申述ベ、諸子ノ理解ト一段ノ努力ヲ切望スル次第デアリマス。

扱テ、增收ノ途ヲ計ルニハドウシタラヨイカト謂フニ、一言ニシテ謂ヘバ、他ノ交通機關ニ奪ハレ、又ハ奪ハレントスル乗客ヲ、取り返セバヨイ、ト言フコトニ歸スルノデアリマス。夫レニハドウシタラヨイカ、先ツ、一般乗客ハ、ドンナ乗物ヲ好ムカ、ト言フ乗客心理ヲ考ヘテ見マスルニ便利デ、速クテ、安全デ、安ク、而モ氣持ノヨイモノヲ好ムコトハ明カデアリマス。之等ノ條件ヲ完全ニ充タスニハ、市内電車ガ最も有利ナ立場ニアルト信ジマス。

ソコデ、諸子ニ希望スルトコロハ、要スルニ、乗客ニ對シ親切ニ、安全ニ、迅速ニ、時間正確ニ、輸送出來ル様努力シテ頂キタイ點デアリマス。之等ノコトハ、交通機關トシテノ本來ノ使命デアリマシテ、今更、車新ラシク申ス迄モアリマセンガ、而モ之等ノコトサヘ、完全ニ實行サルルナラバ、乗客ハ期セズシテ吾市内電車ニ集リ、增收ノ途ハ自ら展カレルモノト信ジテ疑ハナイノデアリマス。

諸子ハ、既ニ昨今ノ減收狀態ニ着目シ、執務上配意セラレツ、アルコトハ、感謝ニ堪ヘナイ次第デアリマスガ、此ノ際上述ノ趣旨ニ即リ、諸般ノ點就中左記事項ニ關シ特ニ一府ノ留意ヲ煩ハシタイト存ジマス。

一、客扱ノ親切叮嚀

乗客ニ接スル場合、諸事ニツキ親切、叮嚀ヲ旨トスヘキコトハ、謂フマデモナイコトデアリマシテ、既ニ諸子ノ日常勵行セラルルコトデアリマスガ、競争機關ノ激増シタ現今ニ於テハ一府ノ努力ヲ要スルノデアリマス。電車施設ノ完備ト相俟ツテ、諸子ノ親切ナル言葉使ヒ、叮嚀ナル態度ガ、乗客ニ對シ如何ニ好感ヲ與ヘルモノデアルカハ、一度立場ヲ代ヘテ考ヘテ見レバ明カナトコトデアリマス。斯クシテコソ乗客ハ、電車ニ親ミテ感ジ、自然ニ増加シテ來ルモノト信ジマス。一人ノ不親切ハ、嘘テ十人、百人ノ不親切ト看做サレル習デアリマスカラ、全員ノ協力が必要デアリマス。ソウシテ「市價從業員ハ實ニ親切タ」トノ感ジヲ一般乗客ニ普及スルコトガ大切デアリマス。

二、車間距離ノ保持

車輛ニ斷續ヲ生ゼシメナイ様、車間距離ヲ適當ニ保持シ各車ニ平均ニ乗客ヲ收容スルコトハ乗客ヲヨリ多ク吸收スル上ニ於テモ、各車擔當者ノ勞務ヲ公平ニシ、完全ナル執務ヲ遂行スル上ニ於テモ、最も肝要ナコトデアリマシテ、過般來「スタツプ」運轉實施ノ結果、着々ト成績ヲ收メテ居リマスガ、兎モスレバ、勞務ノ回避ハ乗務時間ノ關係等、自己ノ都合カラ、車間距離ヲ亂ス者ガアル様ニ見受けラレマスガ、斯ノ如キコトハ大ニ憤マネバナリマセン。車輛斷續ノ結果ハ多數待合客ヲ生ゼシメ、遂ニハ乗客ヲ他ノ機關ニ奪ハルルコトヲ招キ、

レバ、其ノ系統ヲ現ニ運轉シテ居ルノハ二十臺トナリ、輸送能力ハ三分ノ二ニ低トシ、其ノ結果ハ即チ輸送難收入減トナルノデアリマス。ソコデ「動力又電車ハ收入ヲ生マズ」ト言フコトヲ、常ニ念頭ニ置き、車間距離ノ保持、起終點ニ於ケル停滯車ノ一掃ニ、努力シテ欲シト思ヒマス。

三、停留場ニ於ケル注意

イ、安全地帯ノ設備ナキ停留場、又ハ自動車通過ノ頻繁ナ停留場等ニ於テハ、待合客ハ歩道ニ待合セテ居リマスガ、乗務員諸子ハ經驗上其ノ態度ニ依リ、一見シテ自分ノ電車ニ乗車スル客デアルヤ否ヤヲ、判別シ得ルノデアリマスカラ、斯ル乗客ハ、一人ノコナズ收容スル様、致シタイト思ヒマス。勿論、之カ爲著シク車間距離ヲ亂シテハナリマセンガ、努メテ乗車ニ便宜ヲ與ヘル心懸ガ必要デアリマス。

ロ、乗客ノ最も多イノハ、乗換停留場(交叉點及分岐點)デアリマシテ、從ツテ客ノ乗降ノ爲、比較的長イ停車時分ヲ要スルコトハ當然デアリマスガ、運轉手諸子ハ、此ノ交叉又ハ分岐點ノ通過ニノミ注意ヲ用ヒ、發車ヲ急グノ結果、乗客收容ノ餘地アルニモ拘ラズ、多數待合客ヲ殘シテ發車スルノ弊ガアリマスガ、斯ノ如キハ、乗客ニ惡感ヲ與ヘルノミナラズ、乗客ヲ他ノ機關ニ奪ハルル結果トナリマスカラ特ニ反省ヲ促シタイト思ヒマス。

ハ、中出式車輛擔當運轉手ニシテ、停車シタル際、容易ニ「ドア」ヲ開カズ、乗客ヨリ催促ヲ受ケテ始メテ、開扉スルガ如キコトヲ往々見受ケマスガ、斯クテハ、乗客ヲ收容セントスレバ發車ガ遅レ、發車ヲ急ガントスレバ乗客ハ乗車不能(特ニ婦人子供ニ其ノ例ヲ見ル)トナリ、乗客ニ迷惑ヲ及ボスノミナラズ延テハ乗客ヲ失フ結果トモナリマスカラ、待合客アル場合ハ、常ニ停車後直チニ開扉スル様ニ勵行サレタイト思ヒマス。

四、切符ノ取扱

車掌中切符發賣及改札ヲ忽ニスル者ガアリマスガ、改札ヲ遅レル爲、迂回路ニ乘換券ヲ求ムル客ヲ生ゼシメタリ、事故障礙等ニ遭遇シタ場合、無賃乗車客ヲ生ゼメタリスル結果トナリマス。乗車シタ客ニ對シ、直チニ改札ヲ行フコトハ之等不正乗車防止上最も必要ナコトデアリマスカラ嚴ニ勵行シテ欲シト思ヒマス。

五、運轉速度

「速ク」且「正確」ト言フコトハ、交通機關ニ對スル社會一般ノ要求デアリマスガ、速度ニ付テハ各々一定ノ制限ガアリマス。吾市内電車ニ於テハ、此ノ制限ノ範圍内ニ於テ、各系統ニ付、「スタツプ」ヲ定メテアリマスカラ、専ラ之ニ準據シテ正確ナル運轉ヲ爲セハヨイノデアリマスガ、多數運轉手申利己主義ノ立場カラ故意ニ運轉ヲ遅延セシメ、殊ニ甲乙兩車ガ、分岐點ヨリ同一線路ニ進行スル場合、其ノ分岐手前トスル者ガニ速クヲ緩メ、相互ニ他車ヲ先行セシメントスル者ガアリマスガ、斯ノ如キハ、一般乗客ニ不快ノ感ヲ與ヘルモノデアリマスカラ、最も憤マネバナラバコトデアリマス。

六、事故防止

事故、障礙等ノ發生ハ、配車ヲ著シク亂スノミナラズ尊キ人命ヤ、財産ニ危害ヲ及ボスモノデアリマスカラ運轉上特ニ最善ノ注意ヲ拂ヒ、車行障礙ノ絶無ヲ期シタイト存ジマス。

七、信號手ト配車

信號手諸子ハ、操車係ノ延長トシテ配車關係ヲ常ニ念頭ニ置き、最も公平ニ車輛ノ通過ヲ指示シ、中間操車ノ實ヲ舉グル様努メ、運轉手諸子ニ於テモ、之ト協力一致シテ車輛ニ斷續ヲ生ゼシメナイ様、留意セラレンコトヲ希望シマス。

八、交代ノ敏速

乗客ヲ滿載シタ電車ヲ、廢車場前ニ止メ、五分乃至十